



「森とともに暮らす社会」をめざして

NPO法人森づくりフォーラム 活動紹介



NPO法人森づくりフォーラムは、20年以上にわたって
日本全国の森林保全団体とともに、**森づくり活動**を行っています。



森づくりとは？

木を植えて、育てていく

継続的に人が手を入れることで

豊かな森をつくっていくこと

間伐

育ちの悪い木や混み合った森の木を間引いて、
活力のある森林を創る。



枝打ち

木材としての価値を高めるため、
また林内を明るくするため、枝を払い落す。



地拵え

苗木を植え付けやすいように、
枯れ枝や雑草などを整理する。



植林

クワで穴を掘って苗木を植え付け、
土を覆いかぶせて踏み固める。



下草(ボサ)刈り

苗木が雑草に埋もれない様に雑草を刈り払い、
苗木の生長を良くする。



つる切り・除伐

育てたい木の生長を妨げる他の樹木やつる植物を切り払う。

なぜ「森づくり」が必要なのか

日本は世界有数の森林大国

森林面積
2500万ha

森林率
(国土面積に占める森林面積の割合)
世界2位
(1位フィンランド)

国土の**約7割**が
森林

しかし…

林業従事者の全就業者に占める割合 = **0.1%**

- ・ 中山間地域の過疎・高齢化
- ・ 都市への労働力流出
- ・ 木材価格の低迷 など

《産業・暮らしにおける社会的変化》

⇒ 森林を適切に維持・管理するための人手不足

森が荒れると・・・

- ・ 多様な生物が生息できない
- ・ 自然災害の危険性の増加
- ・ 土壌が痩せて水質悪化
- ・ イノシシやシカなどの獣害の増加



放置され荒廃した森林（林野庁HPより）



地域住民・都市市民による **非営利の森づくり活動**がスタート

現在は、森づくりの目的は**多様化**し、
約4000もの非営利の森づくり団体が活動

森に手が入ると・・・

- ・ 多様な生物の生息の場となる
- ・ 災害に強い自然環境になる
- ・ 豊かな土壌 ・ 水質浄化
- ・ CO2吸収率増加
- ・ 美しい景観

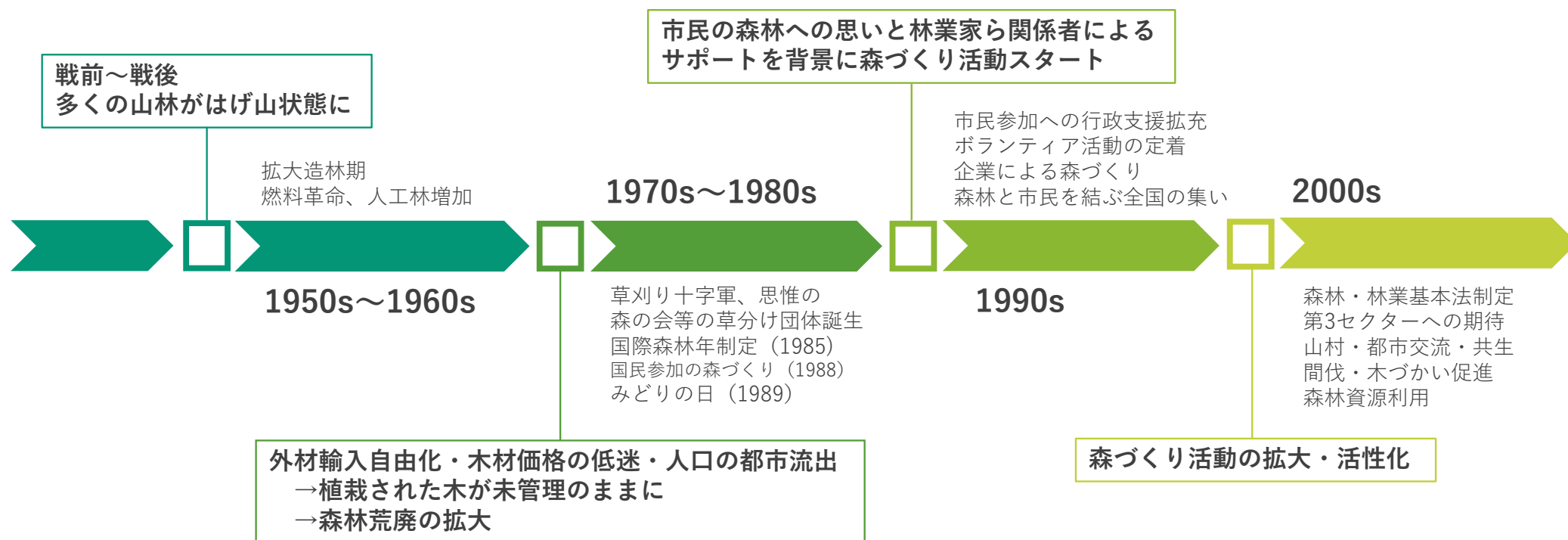


今必要なのは、
日本に暮らす人が協力して
森を守っていくこと

市民参加で整備した森林（森づくりフォーラム）



「森づくり活動」をめぐる状況変化





森づくりフォーラムの設立

東京でも全国と同様に、西多摩地域における人工林の荒廃が問題に

⇒東京都内の森林ボランティア、森林所有者、行政関係者の有志が連携

⇒1993年に「森づくりフォーラム実行委員会」を結成し、

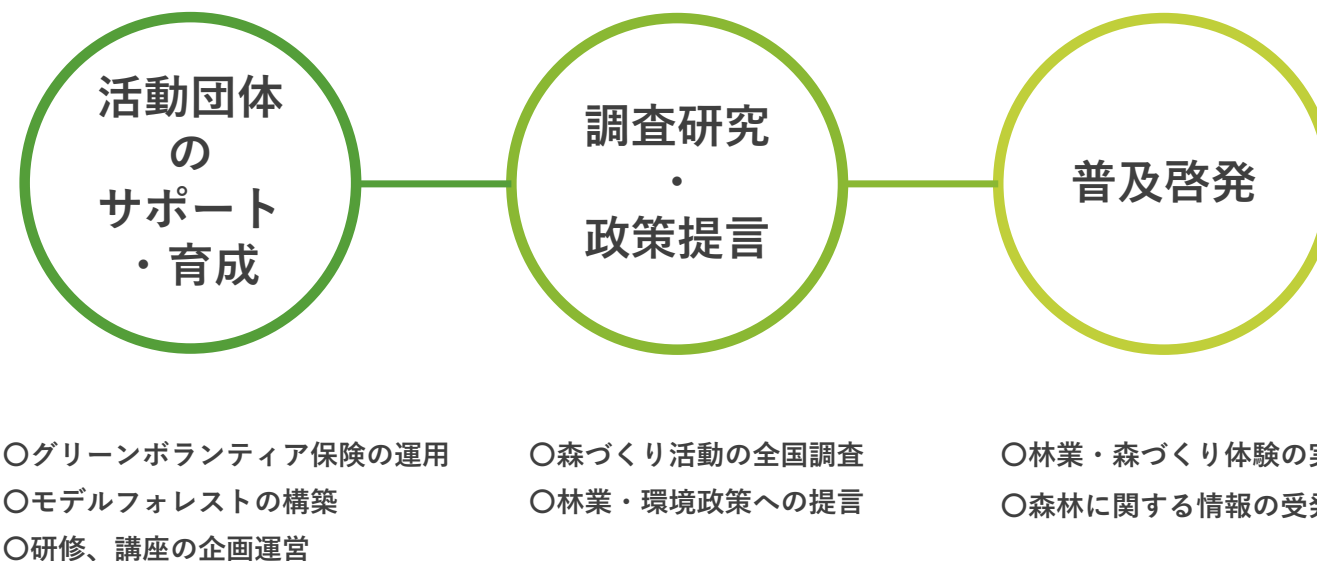
「市民参加の森づくり」をスタート

⇒ 2000年にNPO法人格を取得し、全国ネットワーク組織となる



森づくりフォーラムの取り組み

森づくりをはじめとした森林内で活動を行う団体へのサポートや、森林・林業への理解・関心を広げるための普及啓発活動などを通じて、「森とともに暮らす社会」の実現をめざしています。



①活動団体のサポート・人材育成

・グリーンボランティア保険

森林で活動を行う団体向けの保険「グリーンボランティア保険」を運用しています。（年間約600団体が利用。）また、保険適用団体の事故事例をもとにした、安全対策の発信も行っています。



・フォレスト21さがみの森

1997年より神奈川県相模原市の国有林で、国民参加の森づくり活動を継続しています。

（森林管理署と「ふれあいの森」協定を締結）



②調査・研究

・非営利の森林づくり活動関係の調査

林野庁の補助事業として「森林づくり活動の実態調査」を2015年から2回実施しています。

・森林社会学研究会

森林・林業に係わる実践者、研究者による先進的な活動紹介を通じて、森と人との関わりを考えるコミュニティ講座を、2015年から年4回実施しています。



③普及啓発

・初心者のための森づくり体験会

東京で活動する市民による森づくり団体と協働で、初心者向けの森づくり体験プログラムを実施しています。

・SNSを中心とした情報発信

Facebookはもちろん、若い世代やライト層への情報発信の場としてInstagram等も積極的に活用しています。





これからの森づくりフォーラム

私たちが考える「森とともに暮らす社会」が実現した社会像

●その地域の生態系が持続されている社会

すべての基盤となる自然のバランスが損なわれることなく持続してこそ、私たちの暮らしも持続していきます。

そのため、森づくり活動においては森林だけでなく、それを支える地域にも目を向けることが重要です。

●森と人の営みが持続的に循環し、再生産される社会

森の恵みは、木材や林産物だけでなく、人の心を癒し育む力など様々です。また、それらは循環し、再生産可能な資源でもあります。

森の恵みが、将来にわたって享受できるようにすることは、私たちの世代の責任です。

●人々が森の価値を理解し、積極的に森と関わりあう社会

全ての人が、森と直接的・間接的に関わっています。

森の機能や価値を理解し、森のあり方についてみんなが話しあい、関わりあい、行動していける仕組みと機会提供が必要です。



これからの森づくりフォーラム

2019年度から2021年度にかけての重点的取り組み（中期計画）

A. 指標づくり

「森とともに暮らす社会」とはどんな状態になったら達成されたといえるのか。その達成指標を作成し、達成度を測定可能なものにする。

B. 森と人の営みが持続的に循環し、再生産される社会

① ネットワークの中心的役割としての森づくり活動団体支援

森づくり団体をサポートするための情報発信・収集を通じて、安全かつ継続的な活動を拡大し、森づくり活動団体および各地域での社会的課題の解決をめざす。

② 研究者、森林・林業関係者との協働による政策提言・調査研究

森林に関わるこれからの社会動向の把握・分析、また森に関わるステークホルダーとの協働に向けた今後の指針や計画作成を行う。

③ 市民・地域住民に向けた普及啓発

多くの市民に森の機能・価値への理解を促し、森に関わることの大切さや楽しさを伝え、森との関係をつくるきっかけを提供する。

C. 組織基盤の強化

「森とともに暮らす社会」の実現への取り組みを一層加速、拡大させるために、組織基盤を強化する。また持続的な運営に向けた財政基盤を構築を行う。



FOREST IN YOUR LIFE

- あなたの人生の中に生きる森 -

森づくりフォーラムは、市民が主体となって森林保全に関わる「市民参加の森づくり」の先駆者・導き手として、20年以上活動続けてきました。

その活動を通じて、森林・林業関係者と都市住民とを結び、森を自らが守り・活かしていこうという意識を多くの人々にひろげてきました。

そんな森づくりフォーラムがめざす、あるべき理想の姿。
それは森の中で逞しく成長し続ける、1本の樹木です。

地上では葉を、地中には根を張り巡らせ、あらゆる生態系とリンクする
樹木のように、多様な人々とつながり合いながら成長を続け、
多くの人に森と親しむ暮らしの喜びと憩いを届けたい。

そして活動を通じて出会い、関わる全ての人の瞳の奥に
「あなたの人生の中に生きる森」が浮かぶような体験・機会提供を通じて、
「森とともに暮らす社会」の実現を目指します。



参考リンク

- 森づくりフォーラムWEBサイト <http://www.moridukuri.jp/>
- 森づくりフォーラムFacebook
<http://www.facebook.com/home.php#!/forumstaff.moridukuri>
- 森づくりフォーラムInstagram <https://www.instagram.com/moriforum>
- 森づくりについて <http://www.morinavi.com/japaneseforest>